

1. 研究課題名：C-1005 大気中粒子状物質の成分組成及びオゾンが気管支喘息発作に及ぼす影響に関する疫学研究

2. 研究代表者氏名及び所属：
島 正之（兵庫医科大学・医学部）



3. 研究実施期間：平成 22～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

わが国では平成 21 年 9 月に大気環境中の微小粒子状物質に係る環境基準が設定されたが、粒子状物質の成分組成と健康影響との関連などについては不明の点が多い。また、近年は春から夏季に大気中オゾン濃度が高くなることが多くなっており、その健康影響も懸念されている。

本研究は、微小粒子状物質及びオゾンをはじめとする大気汚染物質の健康影響の疫学的評価を目的に、兵庫県姫路市内で大気中の粒子状物質の成分組成及びオゾンの濃度を測定し、同市内で実施されている気管支喘息発作数調査のデータを活用して、大気汚染物質の喘息発作への影響の定量的な評価を行うものである。

これにより、大気中粒子状物質の成分組成及びオゾンと喘息発作との関連が解明できれば、今後の大気環境対策への貢献が期待できる。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 大気中粒子状物質及びオゾンの気管支喘息発作への影響に関する疫学研究
（兵庫医科大学）
- ② 大気中粒子状物質の PIXE 法による多元素分析及びイオン成分の分析
（エヌエス環境株式会社）
- ③ 大気中粒子状物質の日平均成分濃度の解析
（(財)ひょうご環境創造協会兵庫県環境研究センター）

6. 研究のイメージ

